

宇宙

・地球・人、 そして科学技術

日時： 2007年 10月 18日（木） 13:30 - 16:45

場所： 岡山大学 創立五十周年記念館 多目的ホール

〒700-8530 岡山市津島中 1-1-1 TEL：086-252-1111

1 “宇宙・地球・人”

松井 孝典（まついたかふみ 東京大学大学院教授）

20世紀、人類は宇宙からの視点を獲得した。その結果、地球や生命や文明の普遍性を宇宙に問えることとなった。本講演では、宇宙史137億年の時空スケールで、地球とは何か、生命とは何か、文明とは何かについて考える。



松井 孝典：1946年静岡県生まれ。東京大学理学部卒業、同大学院修了。NASA 研究員等を経て、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。専門は惑星物理学。1986年科学雑誌『ネイチャー』に「水惑星の理論」を発表、地球の起源と進化についての一連の論文によって世界中に衝撃を与えた。現在、惑星科学、特に比較惑星学・アストロバイオロジーの第一人者として、宇宙規模での文明論・人間理解のあり方を提唱している。国内の各種委員会ほか、各種の国際学会メンバーとしても活躍し、科学の側から哲学の領域に鋭く斬り込む言動により、各界の注目を集めている。著書に『地球・46億年の孤独』『再現！巨大隕石衝突—6500万年前の謎を解く』ほか多数。NHK『地球大紀行』の制作に関わるなどテレビ出演も多数。

2 “人間社会の中の科学技術”

川合 知二（かわいともじ 大阪大学産業科学研究所 所長）

純粋な好奇心から探究する“科学”をする喜びと、社会や産業に役立つ“技術”は、どのように関係しているのか？ また社会の中で“科学”がもつ真の意味は？ 科学と技術はどこへ向かおうとしているのか？ 最先端科学技術であるナノテクノロジーを題材にして、これらを考える。



川合 知二：1946年神奈川県生まれ。東京大学理学研究科卒業後、東京工業大学、分子科学研究所を経て、現在、大阪大学産業科学研究所教授・所長 総長補佐。超微細科学技術であるナノサイエンス・ナノテクノロジーを専門とする。走査トンネル顕微鏡による DNA 微細構造の可視化がお気に入りの研究成果。著書に、『ナノテクノロジー（極微科学とは何か）』『ナノテクノロジー入門』『図解 ナノテク活用技術のすべて』『ナノテクノロジー大辞典』（編集）など多数。国立大学附置研究所・センター長会議 第1部会長。

パネルディスカッション

3 “研究所・センターにおける若手研究者育成（大学院教育）の現状と将来展望”

- パネラー
- ・高橋 保（北海道大学触媒化学研究所 前センター長）
 - ・鈴木 陽一郎（東京大学宇宙線研究所 所長）
 - ・土岐 博（大阪大学核物理研究センター 前センター長）
 - ・永島 英夫（九州大学先端物質化学研究所 所長）
 - ・松井 孝典（東京大学大学院教授）

- 司 会
- ・川合 知二（大阪大学産業科学研究所 所長）
 - ・中村 栄三（岡山大学地球物質科学研究センター センター長）



● 会場アクセス ※ 公共交通機関をご利用ください（利用者用駐車場なし）。

- ・JR 岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行「岡大西門」下車、徒歩約1分
- ・JR 岡山駅西口からタクシーで約7分
- ・JR 津山線「法界院」駅で下車して徒歩約10分

入場無料

主催：国立大学附置研究所・センター長会議

URL: <http://www.shochou-kaigi.org/>

問い合わせ 岡山大学地球物質科学研究センター
〒682-0193 鳥取県東伯郡三朝町山田 827 TEL：0858-43-1215（代表）
URL: <http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>